

# ランナー vol.16

2019年2月



↑HPはこちらから



## 編集長 武藤の巻頭ご挨拶

1年で1番寒く感じる月、2月がやってきました。2月も下旬になりますと、徐々に寒さが和らぎをみせ、梅が見頃を迎えますね。梅は日本古来のものに思われがちですが、原産地は中国です。日本でも弥生時代の遺跡から梅の自然木の断片や梅の核が見つかったことから、弥生時代に渡来したものと考えられています。最近では、梅よりも桜を好む人が多いように感じますが、万葉の時代では桜の歌が40首なのに対し、梅は約120首ととても多く詠まれていました。梅を詠んだ歌には歌人の名前が多く明記されていたことから、特に上流階級の方々に愛されていたようです。梅の花の美しさを愛でるのはもちろんのこと、髪に挿したり、袖に入れたり、様々な楽しみ方をされていました。梅の花は形や色が可憐であり、香りも良いことからおしゃれの一環としても愛されていたと考えられます。

梅が昔から日本で愛されていたのは、学名からも読み取れます。梅の学名は、プルヌス・ムメ「Prunus mume Sieb.et Zucc.」と言い、明治期にシーボルトが命名しました。シーボルトが明治期に来日した際、梅の普及率の高さから日本が原産地であると勘違いをし、当時日本で呼ばれていた「ムメ」をそのまま種名にしたそうです。日本での昔の呼び名がそのまま学名として残っているなんて、素敵なことですね。

梅の花が咲くころには、ほんの少しばかりの暖かさを感じる日も出てきます。私たち人が暖かさを感じているということは、植物たちももっと敏感に温度変化を感じています。暖かくなると植物は花を咲かせるため、農作物だと出荷ができなくなってしまいます。花が咲く前のおいしい状態の農作物を無駄なく出荷するためにも天気予報を見たりして、植物が感じている温度変化等を把握していきたいですね！



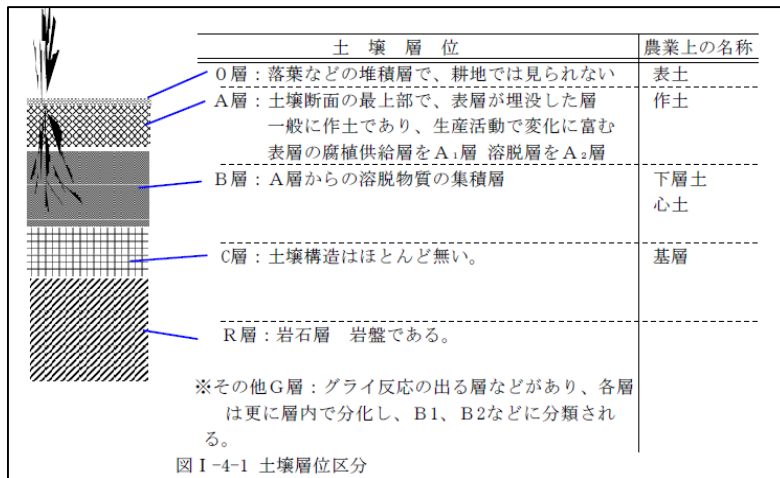
## わたわたの土のお話

### 【土壌の層】

土の中はいくつかの層に分かれています。各土層で土の色や構成成分などが異なっており、層と層ではそれぞれの物理的、化学的、生物的な性質が大きく異なります。これらの土層の重なりを「土壌層位」と言い、森や畑、公園など、場所によって各土層の厚さ（深さ）も違ってきます。

土壌の性質は、農作物の生育に大きな影響を与えます。表層付近の作物が根を自由に伸ばすことができる範囲を「有効土層」、作物の根の90%以上が分布する範囲を「主要根群域」と呼び、作物によって変動しますが、多くの場合、野菜では20~40cm、花卉は30~50cm、果樹では50cm以上の深さがおおよその範囲となっています。この範囲内に根張りを妨げるような固い層があると、作物の生育不良を引き起こしやすくなるため、栽培前に念入りに耕す必要があります。

また、畑地などでは「耕盤」という層ができる場合があります。大型機械が入ることによって土が踏み固められるなどの理由で生成されるとも緻密な層で、耕盤ができると野菜の根だけでなく、土壌中の水の流れも妨げられるため、作物の根が窒息してしまうなどの心配が出てきます。このようなことが起こりやすい土耕栽培では、土壌そのものの性質だけでなく層構造の改善を行うことで、それまで気づかなかった問題点を解消でき、生育状況をより良くすることも可能かもしれません。



農林水産省、新潟県における土づくりのすすめ方 1 土壌の基礎知識  
http://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/hozen\_type/h\_sehi\_kizyun/pdf/ntuti4.pdf

## かわむーの千葉研究農場トマト便り

季節は大寒を過ぎましたが、まだまだ寒い日が続いています。千葉農場がある柏市では毎日のように氷点下を下回っており、雨樋に氷柱ができています。インフルエンザも流行っていますので、手洗い・うがいとトマトを食べる寒い冬を乗り切りましょう！

外はまさしく凍える寒さですが、ハウス内は快適です。最低でも11℃以上あり、日中は27℃くらいになるのでむしろ暑いくらいです。

しかし、トマトの成長は少し遅れ気味です。収穫開始予定の区画はまだ果実が青いですし、年末に定植した区画はやっと第1花房が開花しました。マルハナバチさんも、待ってましたとばかりに1日中花粉を集めています。

スケジュールが早かったのか、環境制御のやり方が違うのか、頭を悩ませる毎日です。

収穫前の果実も網入り果が多く出てしまいました。元々果皮が薄い品種で網入り果は出やすいのですが、それに加えて水分ストレスをかけているので今回症状として現れたようです。おそらく灌水管理で対処できるとは思いますが、まだ調整が必要です。今はストレスをかけ続けながら出来る限りの対処をしています。

まだまだ勉強と経験が足りないということですね…。もっと植物と向き合って、チームで問題を乗り越えていきたいと思っています！



花粉を集めるマルハナバチさん



網入り果



## おーみんの知ってほしい！養殖魚の話

### ご当地養殖魚の第6弾！

今回ご紹介するのは、栃木県那珂川町の養殖トラフグです。なんと、内陸の山間部で海水魚であるトラフグが生産され、全国に広がっているというのです。

その秘密は、地元の温泉水。養殖に利用する温泉はナトリウム塩化物泉で、塩分濃度は海水の1/3程度だといえます。塩分濃度が低い分、塩分を調整して海水に近づける…かと思いきや、そのまま使います。実はこの塩分濃度が、トラフグの体液に近いのです。体液の浸透圧調整の為にエネルギー消費が少なく済むため、その分成長が早まります。また、水温が低下する冬、海上養殖ではトラフグの活動レベルが下がり、飼料効率が低くなって出荷サイズに育つまでに1.5年かかると言われますが、温泉水養殖では水温が保たれるため、体重停滞期がなく、1年で出荷サイズになるそうです。

なんだかいいこと尽くめですが、気になるのは味だ！という方。なんと、温泉トラフグと海上養殖されたトラフグとを比べると、温泉トラフグの方がうまみ成分である遊離アミノ酸量が20%程多く含まれているとのこと。味で◎です。さらに、養殖施設には小学校の廃校教室が活用されたり、元スイミングスクールの室内プールが転用がされていたりと、地元を全力で盛り上げるとご当地トラフグなのです。

今や全国計13カ所で温泉トラフグの養殖が始まっており、まだまだ広がりを見せる勢い。

この頃失速ぎみな私も、とりあえず温泉につかりに行こうかと思っています。

- 【参考】
- <http://www.ganso-onsentorahugu.com/>
  - <https://www.asahi.com/articles/ASL6T34J4L6TUUHB004.html>
  - <http://www.town.tochigi-nakagawa.lg.jp/22kankou/category/syoku/2016-0318-1038-52.html>



神さまのシステム用語・計算方法

「生育調査」

2月に入り降雪があったかと思えば、春先かと思うぐらいの気温になったり、気候変動が大きいと感じます。気温が例年よりも高い場合には、植物の生長はもちろんいつもより早くなります。「去年と同じ栽培管理をしているのにいつもより生長のスピードや姿が違う」とならないように、植物の生育調査を行うことが大切です。

最近のオランダ的なトマトの生育調査では、1週間の草丈の伸長量、前週計測時の生長点の位置の茎径、花が1つ咲いたときの花房から生長点までの距離を測定することが多いです。それらを毎週データシートに記録し、生長のバランスが保っているかを確認して、栽培環境・養液濃度・灌水のタイミングなどを調節します。また、葉の長さや幅・葉の枚数からどのくらい葉が茂っているかも推測していることが多いです。

千葉研究農場で行っている低段密植栽培では長期多段栽培とは管理方法が異なる点があるため、茎径の計測は独自の方法で行っています。

調査項目

生育データ	各段の花房下の茎径
	開花花房の高さ
	伸長速度
	開花速度
	葉長
	葉幅
花梗の傾き	



福くんの栽培お役立ちコーナー

2月～4月の予報

栽培ワンポイント

向こう3か月の気象予報は、南から暖かく湿った空気が入りこみやすく、例年より高温・多湿となり、また前線の影響で曇天日が多い為、日照時間の減少が予測されます。例年、2月中旬になると急激に気温が高くなり、植物の成長速度が速くなることで果皮が柔らかくなったり、水っぽくなったりと品質悪化が懸念させます。植物の状態を気にしながら環境・灌水設定の更新をお願いします。



気象庁「3か月の平均気温・降水量」「月別の平均気温・降水量」を加工して作成

平均気温

地域	平均気温			
	2月～4月	2月	3月	4月
北日本	ほぼ 平年並	平年並か 低い	ほぼ 平年並	平年並か 高い
東日本	平年並か 高い	ほぼ 平年並	平年並か 高い	高い
西日本	高い	ほぼ 平年並	高い	高い
沖縄・奄美	高い	高い	高い	高い

降水量

地域	降水量			
	2月～4月	2月	3月	4月
北日本	日本海側 ほぼ 平年並	平年並か 多い	ほぼ 平年並	ほぼ 平年並
	太平洋側 平年並	平年並か 多い	ほぼ 平年並	ほぼ 平年並
東日本	日本海側 平年並か 多い	平年並か 多い	ほぼ 平年並	平年並か 多い
	太平洋側 平年並か 多い	ほぼ 平年並	平年並か 多い	平年並か 多い
西日本	日本海側 平年並か 多い	平年並	平年並か 多い	平年並か 多い
	太平洋側 平年並か 多い	ほぼ 平年並	平年並か 多い	平年並か 多い
沖縄・奄美	平年並か 多い	ほぼ 平年並	平年並か 多い	ほぼ 平年並

ゆうさんの水産豆知識

水族館豆知識 Part14

第14回目は、アメフラシについてです。気持ち悪いと思われる生物の代表格ですね。今回は、そんなアメフラシの生態についてです。



アメフラシとは、無脊椎類に属する軟体動物の総称です。2本の角のようなものを持ち、背中に大きなヒダがあるのが特徴です。

雌雄同体で、頭のほうに雄の生殖器官を、背中に雌の生殖器官を全ての個体が持っています。前方個体の雌の器官に後方個体の雄の器官を挿入する形で何個体も連なって交尾する、「連鎖交尾」という方法で交尾します。

https://www.weblio.jp/content/ソウアメフラシ



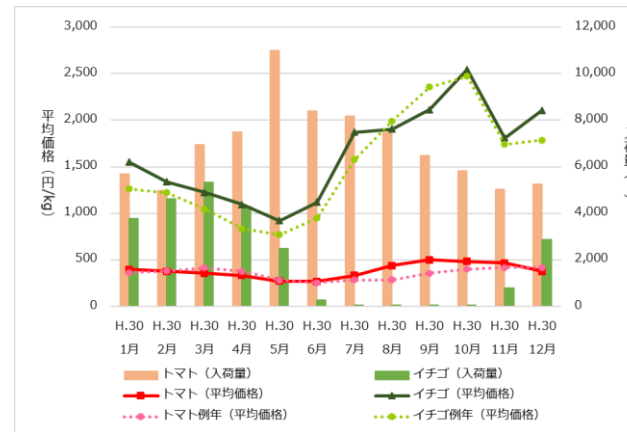
このアメフラシの最大の特徴は、刺激を与えると、背中から紫色（赤色、白色）の液体を放出することです。紫汁腺という器官から放出され、アメフラシが持つ、外敵から身を守る手段です。煙幕もしくはこの液体が不味いため敵が嫌がると考えられています。

紫色っていうのがなんととも不気味ですね。この紫色は、アメフラシが普段食べているもの（海藻など）に由来するそうです。

https://ja.wikipedia.org/wiki/アメフラシ

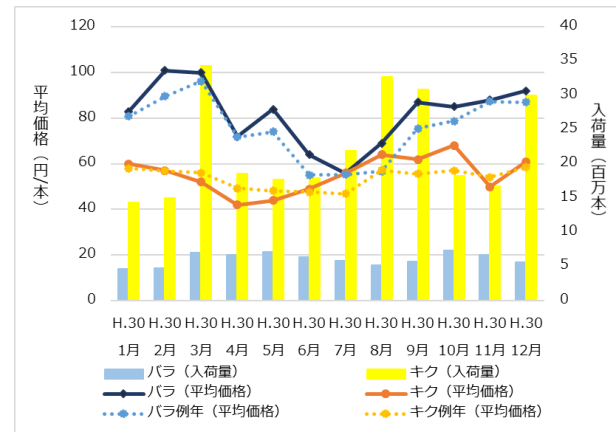
興味がある方は見つけたら刺激を与えてみてはいかがでしょうか。

トマト・イチゴの平均価格と入荷量



		例年12月	H.30 12月	例年比
トマト	入荷量 (t)	4,896,867	5,254,044	107%
	平均価格 (円)	417.4	377	90%
イチゴ	入荷量 (t)	1,868,326	2,873,193	154%
	平均価格 (円)	1786.3	2106	118%

キク・バラの平均価格と入荷量



		例年12月	H.30 12月	例年比
バラ	入荷量 (t)	7,864,512	5,648,332	72%
	平均価格 (円)	87.1	92	106%
キク	入荷量 (t)	33,256,565	30,000,414	90%
	平均価格 (円)	58.6	61	104%

ランナー vol.16 2019年2月発行 掲載記事の無断転載を禁じます。

発行所 株式会社 大仙 営業事業部  
〒440-8521 愛知県豊橋市下地町字柳目8  
[TEL] 0532-54-6521 [FAX]0532-57-1751 [E-mail]mail.magazine@daisen.co.jp [登録]



※メールマガジン配信希望の方は、右のQRコードよりご登録いただくか、上記のE-mailアドレスより空メールの送信をお願いいたします。